

2024 年度

ニチキッズ洛西口保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月10日（金）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月25日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	『おもいきり遊ぶ・おもいきり学ぶ』に則り、今年度は食育の取り組みを強化した。うどんやピザ作りなど楽しんで取り組むことはもちろん、今まで食べなかった野菜を自ら食べようとする姿もみられたことが良かった。
子どもの発達援助	子どもの発達状況を職員間で共有し、個々に合わせたトイレトレーニング、また2歳児は当番活動に取り組めた。次年度は合同保育の時間で、年齢別や発達に合わせたコーナー遊びの環境を整え、じっくりと遊べるようにしたい。
保護者に対する支援	登降園時、保護者入室可能にし、会話する機会が増えたことでコミュニケーションが深まった。また、『ふれあい遊び』などの日常の保育動画を配信し、家庭でも「一緒に楽しめるので嬉しい」との感想をいただいた。
保育を支える組織的基盤	日々のミーティングで他職員の業務の進捗を確認し合い、遅れているところを助け合うことができた。また、クラスごとの共有を密に行い、昨年と比べ、職員間のコミュニケーション不足も解消されたと思う。次年度は新しい職員を迎えるので、チームワーク作りに力を入れていきたい。

総評
<p>今年度は、日々のミーティングで子どもの発達状況を細かく共有することで、子どもの興味に合わせた取り組みをし、子どもたちが意欲的に参加できる行事や保育ができた。</p> <p>また、定期的に日常の保育の場面を動画配信し、保護者への安心・信頼関係につながった。</p> <p>次年度はさらに園全体で子どもたちの最善の利益を考えた保育を行い、職員一人一人がスキルアップできるように取り組んでいきたい。</p>